

蟹江町污水適正処理構想（案）

令和3年度

愛知県 蟹江町

1 全県域污水適正処理構想とは

污水处理施設には、公共下水道、集落排水、コミュニティプラント、合併処理浄化槽などがあり、トイレや台所などからの污水（＝排水）を処理しています。

全県域污水適正処理構想は、愛知県内の各市町村が污水处理施設の整備を効率的、経済的に進めていくために、污水处理施設の特徴を生かした整備区域、整備目標などを決め、将来の污水处理施設整備の方針となるもので、愛知県が県全体の構想としてとりまとめるものです。1995年に策定したものを2003年、2010年、2016年に見直しましたが、今回4回目の見直しを行います。

2 蟹江町の污水处理の現状

現在、公共下水道は、蟹江町を始め、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町の4市2町を対象とした日光川下流流域下水道の流域関連公共下水道として整備を進めています。

2009年度末からJR蟹江駅周辺28.7haの区域を第1期として供用開始し、2020年度末には296.6haの区域で下水道が使用できるようになりました。

また、鍋蓋新田地区（南蟹江団地）のコミュニティプラントは、2001年度から供用開始しています。

3 污水適正処理構想見直しの方針

「蟹江町污水適正処理構想」の見直しの基本方針は、以下のとおりです。

【見直しの基本方針】

- ① 中間目標年度を国が設定している污水处理施設の概成時期（2026年度末）と整合します。（旧：2025年度末）
- ② 人口減少などの社会情勢の変化を反映します。
- ③ 土地区画整理事業による開発区域（近鉄富吉駅南地区）を下水道で整備します。
- ④ 整備優先順位を考慮し、短期（5年程度）における整備計画を策定します。
- ⑤ 広域化・共同化の取組みを反映します。

4 汚水適正処理構想見直し結果

集合処理に適している市街化区域および土地区画整理事業による開発区域（近鉄富吉駅南地区）と市街化調整区域のうち人口集中地区（DID地区）は、流域関連公共下水道として整備を行います。

上記以外の地区については、汚水処理施設を整備するために必要な費用を集合処理（公共下水道）と個別処理（合併処理浄化槽）で比較し、適正な整備手法を選定しました。

なお、比較する際に用いた人口、水量の将来値は、少子高齢化による人口減少を考慮しています。

見直し前と見直し後の比較結果は、以下のとおりです。

整備手法別面積・計画人口の内訳

項 目	2016年度見直し構想値 (2030年度末)			今回見直し構想値 (2030年度末)		
	面積 (ha)	人口 (人)	人口シェア (%)	面積 (ha)	人口 (人)	人口シェア (%)
流域関連公共下水道	669.0	32,863	98.7%	678.1	35,079	98.8%
コミュニティプラント	3.7	324	1.0%	3.7	305	0.9%
合併処理浄化槽	437.3	115	0.3%	427.5	122	0.3%
合計（蟹江町全体）	1,110.0	33,302	100%	1,109.3	35,506	100%

※ 蟹江町全体の面積は2020年度末時点の値です。全体面積が見直されました。

5 今後の汚水処理の見込み

本町の公共下水道は、2020年度末時点で296.6haが整備されています。

今後は、2026年度を中間目標として、整備を行います。

中間目標値（2026年度末）

整備面積 422.6ha（2020年度末 296.6ha）

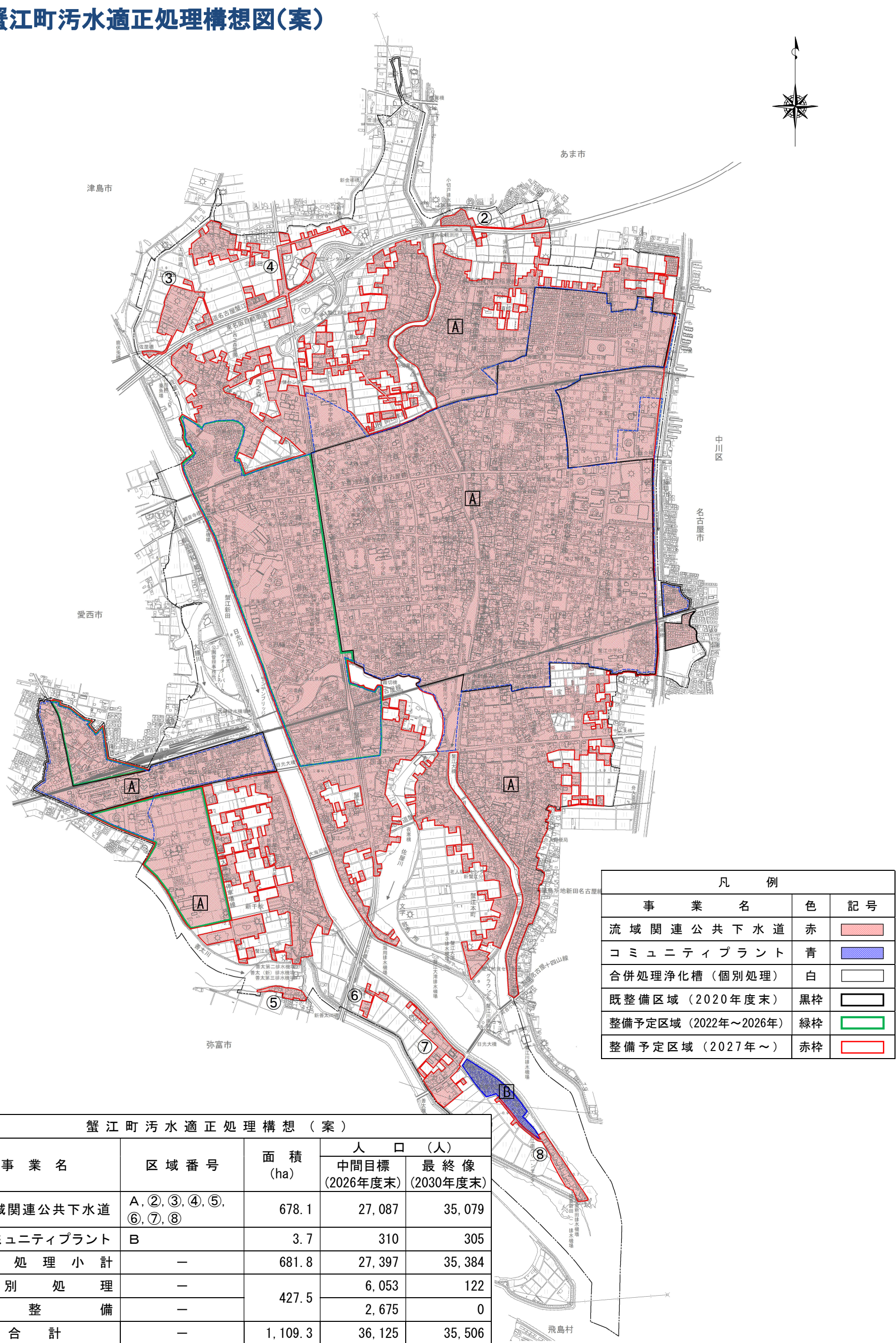
整備人口 27,087人（2020年度末 22,065人）

【整備方針】

- ・市街化区域を優先的に整備します。
- ・流域幹線（整備済み、または整備中）沿いの区域を優先的に整備します。
- ・人口密度の高い区域（人口集中地区（DID地区）等）を優先的に整備します。
- ・広域化や共同化で費用対効果が期待できる取組みを行います。

2022年度～2026年度で公共下水道整備を行う範囲を次頁に示します。

蟹江町污水適正処理構想図(案)



蟹江町污水適正処理構想（案）				
事業名	区域番号	面積 (ha)	人口（人）	
			中間目標 (2026年度末)	最終像 (2030年度末)
流域関連公共下水道	A, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧	678.1	27,087	35,079
コミュニティプラント	B	3.7	310	305
集合処理小計	—	681.8	27,397	35,384
個別処理	—	427.5	6,053	122
未整備	—		2,675	0
合計	—	1,109.3	36,125	35,506

※ ①は、下水道による整備を予定している区域であるため、欠番である。